

いろいろな生物とその共通点

教科書出版社名（ 東京書籍 ）

○ 中学校（ 1 ）年 教科等（ 理科 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

いろいろな生物の共通点や相違点を見出す力。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

課題を解決するための情報を自ら探し、読解し、適切に文章化する力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…自ら設定した課題を解決するための情報を図書資料（ポプラディア・図鑑など）やタブレットを活用して収集する。
- 整理・分析…課題を解決するために収集した情報を、項目ごと（身体的特徴、生息地など）に整理し、ロイロノートのテキストカードにまとめていく。
- まとめ・表現・発信…作成したテキストカードをつなげてスライド化し、グループごとに発表する。

学習の展開（全8時間）

第1次	ピンセットやルーペなどを正しく使い、カタクチイワシやシバエビのからだのつくりを観察して、その特徴を適切に記録する。
第2次	セキツイ動物がどのようにグループ分けができるかを考え、より妥当な考えをつくり出して表現する。
第3次	セキツイ動物がいくつかの特徴から5つのグループに分けられることを理解し、具体的にさまざまなセキツイ動物をそのグループに分類する。
第4次	無セキツイ動物がどのようにグループ分けができるかを考え、より妥当な考えをつくり出して表現する。
第5次 (☆)	動物の分類のようすを学び、それぞれの分類の特徴を理解する。
第6次	前時で調べたことを発表するため、相手に伝わるように情報を整理する。
第7次	これまで調べたことが正確に相手に伝わるように、正しく順序立てて発表する。
第8次	自分の生活の中にもどのような生物がかかわっているかを考えたり、野外の生物を実際に観察する計画を立てたりしながら、ほかの生徒と協力してたがいに話し合い、ねばり強く課題を解決する。

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
動物の分類のようすを学び、それぞれの分類の特徴を理解する。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	1. 本時の調べ学習のながれを確認する。(導入) ① 班ごとに調べる動物の分類(哺乳類・爬虫類・魚類・両生類・軟体動物・昆虫類・鳥類・甲殻類・その他の動物)を決める。 ② 決めた分類のなかで、詳しく調べる動物を決める。 ③ 調べる項目を班で話し合って決定する。 ④ 図書資料とタブレットを併用して調べ学習を行う。 <調べるポイント> ・体の特徴について ・動物の生活について ・みんなの興味をひく内容(班独自で設定)	・調べ学習は、図書資料とタブレットを有効に活用して進めるように説明する。 ・動物についての基本情報は、図鑑やポプラディア等を活用し、精選された情報を収集するように説明する。
30	2. 収集した情報をロイロノートのテキストカードにまとめる。(展開) ・収集する情報を明確にし、文章を正しく読解して必要な情報を探す。 ・インターネットから情報を収集する際は、参考にしたサイトが信用できるものなのかを判断する。 ・情報を引用した参考文献・サイトを明記する。 ・テキストカードにはイラストなどを掲載し、相手に情報を正しく、分かりやすく伝える工夫をする。	・資料探しの場面では、学校司書も支援する。 ・タブレットを活用する際は、学校司書が事前に準備した「調べ学習リンク集」も活用する。 ・調べる項目について、キーワードを図書資料から見つけ出してインターネット検索をすると、さらに詳細な情報を得ることができることを説明する。
10	3. 班内で進捗状況を確認する。(まとめ) ・次回の作業内容、発表準備の内容を確認する。 ・個別の振り返りを書く。	

図書館活用
ポイント

図書館活用
ポイント